

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.2.21



現場で探る、商店街の課題と可能性ー多治見ながせ商店街ー

第10回ぎふフューチャーセンターは、2月21日(火)に多治見市のながせ商店街において開催し、学生、商店街の方、自治体職員等計20名が参加しました。

参加者はそれぞれミッションをもって商店街を散策したあと、ながせ商店街の魅力や特徴について意見交換し、より多くの人に商店街に来てもらうための仕掛けについて提案を行いました。発表では「アベックが来る商店街」、「学生も楽しめる商店街!」などのキャッチフレーズと共に数々の仕掛けが提案されました。提示された意見は、今後自治体等の施策の参考とされることが期待されます。

また、学生にとっては、多治見市やまちづくりについて学んだり、iPadを活用して散策するなど、学びの多いフューチャーセンターとなりました。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

- 朝昼は30代以上の女性、夜は会社帰りの人をターゲットとした「一日中居られるながせ商店街」
- 若い人が来る店舗を増やし「アベックが来る商店街」
- 緑を増やしカフェでのんびり「人生に潤いをもたらす商店街」
- 高校生をターゲットにした商品や店舗をつくり「学生も楽しめる商店街!」



岐阜大学
工学部2年

黒木 寧範 さん

プラス思考が必要

普段の生活で関わらない方と関わるのは、ここでしかできない経験。意見を実現に向けて、プラスの方向へアイデアを変えていくという考え方が印象的でした。



多治見市産業観光課
まちづくり推進員

菊池 くみ さん

新たな気持ちでまちづくりを考えます

学生さんが初めて見る商店街の感想を生で書くことができ、今後は新たな気持ちで商店街のまちづくりを考えたいと思いました。商店街に滞在してもらうため女性をターゲットにした「花カフェ」の提案が良かったです。



ながせ商店街
振興組合理事長

玉木 秀典 さん

固定概念をこわす提案を求む!

学生さんがターゲットを絞り、それをとっかかりとして考えていくところが面白かったです。もうすこし時間をかけて話し合うことで、もっと突拍子のない意見がでてくるのではないかと思います。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3168
<http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

[FAX] 058-293-3167
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点